

鷹番住区住民会議設立30周年記念



鷹番住区住民会議

鷹番住区住民会議 役員

(平成 25・26 年度)

役 職	氏 名	所 属
会 長	安西 敬作	三谷北町会
副会長	梁嶋 充善	鷹番一・二丁目町会
副会長	小柳 好男	中央町一丁目町会
副会長	小宮 邦治	碑文谷六丁目自治会
副会長	中村瑠璃子	碑文谷町会
事務局長	熊澤 祐子	碑文谷六丁目自治会
会 計	佐藤 邦雄	三谷北町会
会 計	河原 義一	三谷北町会
会計監査	高林 健二	鷹番一・二丁目町会
会計監査	木村 保仁	鷹番一・二丁目町会

相談役	橋本欣三郎	碑文谷町会
相談役	今井れい子	清水町会
相談役	神宮 重夫	前住区住民会議会長
相談役	村尾 知昭	鷹番小学校校長
相談役	森田 正藏	目黒中央中学校校長



目 次

30 周年を迎えて	鷹番住区住民会議会長 安西敬作
お祝いのことば	目黒区長 青木英二 目黒区議会議員 橋本欣一 鷹番小学校校長 村尾知昭 鷹番小学校PTA会長 瀧澤浩史
住区住民会議各部会から	交通部会 青少年部会 生活福祉環境 スポーツ部会 防犯部会 防災部会 施設管理運営部会 広報部会
鷹番住区住民会議への支援・協力団体	
鷹番の四季	



鷹番住区住民会議設立30周年を迎えて



鷹番住区住民会議会長

安西 敬作

鷹番住区住民会議30周年を迎えるに当たりご挨拶を申し上げます

鷹番住区住民会議は、昭和60年4月に、鷹番小学校にて設立総会が開催され誕生しました。

平成8年に、待望の活動拠点、鷹番住区センターが出来ました。初代の会長は谷田泰司さんで、住区の創設から、17年間にわたり、お骨折りを頂き、今日の住区活動の基礎を作られました。平成13年に、神宮重夫さんが2代目の会長になられ、温厚篤実な人柄で、皆さんを纏め、地域主体の存在感のある、住区住民会議を立ち上げられました。19年に私、安西に代わり今日に至っております。

ここで鷹番住区住民会議の構成を簡単にお知らせいたします。会が行う事業催事は8つの部会(交通部会、青少年部会、スポーツ部会、生活環境福祉部会、防犯部会、防災部会、施設管理部会、広報部会)にて構成され、運営されています。主な行事は、1月の火祭り、3月末の桜祭り、7月の碑文谷公園での納涼盆踊り、10月の住区祭りと、他に各部会が季節に応じた、きめ細かい催しを行っております。

話が転じますが、今年、102歳の聖路加病院の日野原先生は、「命の授業」というお話をされています。「命とは君たちが使える時間であり、自分の時間を誰かのために使えるような、そんな大人に」とお話を結んでおられます。鷹番小学校の村尾校長先生は「勉強して賢い子に、運動して元気な子に、そして人に優しい子になろう」と。その鷹番の子どもたちを迎える目黒中央中学校の森田校長先生は、「自立と共生」を教育目標に掲げておられます。

「自分の時間を誰かのために使う」「自立と共生」「思いやりのある子」、3人の先生の教えは、同じです。共生と共助の教育を受けた子供たちが、社会人となり、自立していくものと思います。

目黒区は区政の中で「豊かなコミュニティの形成」を目標にかかげております。私たち鷹番住区住民会議の規約第1条には、住みやすい街づくりが目標と記されております。

住みやすい街は、「共生と共助」の精神を持った地域の人の善意で培われていくものと思います。

30年を節目に、更に地域に親しみのある活動を行い、絆を深め、次の世代へ繋いでいきたいと思っております。

以上申し上げご挨拶と致します。



お祝いのことば



目黒区長

青木 英二

鷹番住区住民会議の皆様、この度は設立30周年を迎えられましたことに、心からお慶び申し上げます。目黒区に住むものの一人として深い感慨を覚えています。

また、皆様には日頃より区政に対し多大なご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

鷹番住区住民会議は、昭和60年4月の設立以来、地元の町会・自治会、商店会、鷹番小学校、目黒中央中学校、PTA等と一体となって、地域のコミュニティ形成や課題解決に積極的に取り組んでおられます。

特に、新年の「火まつり大会」、春の「桜フェスティバル」、夏の「盆踊り大会」、そして秋の「住区まつり」など、四季折々のイベントは、地域の風物詩としてすっかり定着してきております。そして、常任委員会を中心に各部会が活発に事業を実施しておられ、地域の安全や安心、青少年の健全育成、高齢者の福祉や健康づくりなど、地域コミュニティを広める活動にご尽力いただいております。目黒区基本構想では、まちづくりの方向として「ともにつくる みどり豊かな 人間のみち」を掲げております。

鷹番住区住民会議の様々な活動は、まさにこの基本構想に沿い、地域の力を生かしあいながら、人と人がふれあい支え合う地域社会を形成し、区政が目指す「住みたいまち、住み続けたいまち目黒」の実現に欠かすことのできないものとなっております。

今後とも、鷹番住区住民会議の皆様の一層のご支援とご協力をお願いするとともに、益々のご発展とご健勝をお祈り申し上げまして、お祝いのご挨拶とさせていただきます。



目黒区議会議長

橋本 欣一

鷹番住区住民会議創立30周年にあたり、目黒区議会を代表して心からお祝い申し上げます。

創立から今日に至るまで、地域と共に熱意を持ってまちづくりを行っていらした初代谷田会長、神宮前会長、現在の安西会長をはじめ、役員、各事業に携われた方々に、改めて感謝と敬意を表したいと存じます。私自身も鷹番で生まれ育ち生活をし、そして住区活動に携わって参りました地域の一員でもあり、30周年を共に喜びたく存じます。

鷹番住区管内は、住・商・工が混在し、区内にある多用な地域を凝縮した「小さな目黒」の様に感じております。その結果、様々な区民が生活し、その得意分野を持ち寄って多岐にわたる活動が行われて参りました。

また、管内各町会の町会長から住区の会長、副会長が選出され、行事によっては共に地域団体である両団体が一体となって活動し、更に学芸大学の各商店街からも様々なご協力を頂いて参りました。メンバーも男女とも多用な年代が参画され、老・壮・青・少がバランス良く活動されており、これらのすべての方々・団体が一体となって、区内でも有数の活動を行う鷹番住区の魅力を創り上げているのだと思います。

地域社会の構築は一朝一夕には出来ません。30年間の絶え間ない活動により、数々の事業・行事でコミュニティを創り上げ、それらの蓄積が今日の活発な住区活動につながってきたのだと思います。今後も人と人との結びつきを大切に、地域住民と共に鷹番住区を更なる発展に導いて頂ければ幸いです。

益々の隆盛をご祈念申し上げ、お祝いの言葉と致します。



目黒区立鷹番小学校校長

村尾 知昭

鷹番住区住民会議設立30周年、誠におめでとうございます。

日ごろより、住区の皆様方には、子供たちを心温かく見守り、育ててください、ありがとうございます。皆様のお陰で、鷹番小学校の子供たちは、安心して楽しく学校生活を送り、自らの輝きを高めようと、一生懸命に努力することができています。本当にありがたいことだと心より、感謝申し上げます。

特に、鷹番住区は、安西敬作会長を中心にして、心豊かで温かみのある人間関係が築かれ、絆の深さ並びに各町会との連携の素晴らしさは、他の住区住民会議のお手本となっていると思います。

これは、30年という長い歴史の中で様々なご苦労やご努力の積み重ねの賜物だと思います。そして、鷹番住区の皆様一人一人が、鷹番住区に愛着を感じ、誇りに思っている証だと思います。私も、鷹番小学校長として赴任して以来、鷹番住区の皆様方の学校に対する心温まる愛情と様々なご支援、そして結束の固さの素晴らしさを痛感しているところです。

ところで、学校と家庭、地域の連携の大切さについて、「子供は、家庭の教えで芽を出し、学校の教えで花が咲き、地域の教えで実がなる。」という言葉があります。今後も、学校と家庭、地域が連携を密にし、子供たちの健全育成を図っていききたいと思います。

最後になりますが、鷹番住区のますますのご発展をお祈り申し上げますと共に、鷹番小学校の教育活動に対するご理解とご協力を、よろしくお願い申し上げます。

(村尾校長は3月末異動され、後任に石丸靖治校長が着任されました)



目黒区立鷹番小学校

PTA会長

瀧澤 浩史

鷹番住区住民会議設立30周年、誠におめでとうございます。長きにわたり地域の皆さまが、たゆまぬ尽力をされたからこそその30周年とご推察いたします。また、火まつり、盆踊り、住区運動会などの行事をはじめ、30年の長きにわたって子どもたちに注いでいただいた温かいまなざしと愛情に対して、歴代の鷹番小学校 PTA を代表して篤く御礼申し上げます。

先日、NHKの「震災ビッグデータ」という番組の中で、「共助力」という言葉が取り上げられていました。阪神・淡路大震災では、家屋の倒壊から救助された人のうち、警察・消防による救助は2割で、残りの8割の人は近所の人たちによって助け出されたそうです。この近所の方の力が「共助力」と呼ばれるもので、遠くない将来に東京を襲うといわれる都市直下型大地震に向け、この「共助力」の養成が大きな課題となっているそうです。そのために、国や各自治体が、町会や商店会、PTA、学校などを結びつける努力を必死でしはじめていたという内容でした。

この「町会や商店会、PTA、学校などが結びつけられたもの」とは、この住区住民会議そのものではないでしょうか。まさに、先進の取り組みを30年も前からやってきたと言えるでしょう。3年前の東日本大震災以降、「地域の絆」の重要性が再び注目されています。この鷹番地域は、鷹番住区住民会議が中心となって、「地域の絆」が一層強まり、子どもたちの笑顔が溢れる安心・安全な街づくりが一層進んでいくことでしょう。

今後も子どもたちへのご尽力をお願いするとともに、設立50周年、100周年というさらなる節目に向け、鷹番住区住民会議がますます発展されることを祈っております。

交通部会

事故のない快適なまちに

交通部会は、鷹番住区の各部会の中でも少ない人数で運営されている部会の一つです。

名前の通り、交通に関するお手伝いをさせていただいていますが、主な活動は、秋に行っている「自転車点検・安全教室」や鷹番小学校に入学する子どもたちと保護者に向けた「新入学児童交通安全教室」などがあります。

「自転車点検・安全教室」の内容は主に3つ。自転車の点検をすること、日頃自転車を乗るうえでより安全に運転が出来るようになるための運転技術を学ぶこと、安全に自転車に乗るためにビデオを見て警察から様々なアドバイスをいただくことです。

「新入学児童交通安全教室」では、それまでは保護者と一緒に行動することがほとんどの子どもたちが、小学校に入学すると一人で登下校するようになります。そんな子どもたちが安全に道路を通行できるように、ビデオを見たり、警察から安全のためのお話をいただいたり、仮の横断歩道を使って実際に道路を渡る練習をしたりしています。



新入学児童交通安全教室
—もうすぐ小学1年生



自転車点検・安全教室—まっすぐ走れるかな？



自転車点検・安全教室
—点検は自転車屋さんをお願いしています

他には、鷹番住区住民に向けて「安全運転講習会」を開いたり、「火まつり」「盆踊り」「住区運動会」などの行事の時に、交通整理や来場者の自転車整理も行っています。

自転車も自動車も私たちに欠かせない便利なものですが、ベビーカーや車いすの方、そしてたくさんの歩行者が道路を通行しています。

交通部会では、それぞれの方がお互いに安全に快適に通行できるためのお手伝いが出来ればと考えて活動しています。

(部会長 高林大)

青少年部会

子どもたちの笑顔のために

現在、部会員は23名です。毎年4月から3月まで、多くの行事を行っています。年間6回程度の部会、それ以外鷹番小学校PTAとは、年間行事の打合せや反省会を行い連携を深めています。

企画する自分たちが楽しめなければ、参加者も楽しめない。参加してよかったという声を励みに活動しています。

○夏休みキャンプ

デイキャンプから始まり、そのうち1泊2日となり、10年くらい前から2泊3日となりました。子どもたちにとっては、飯合炊さん、キャンプファイア、水遊び、ハイキングなどの班活動を通じて、自主性や協調性を培うよい機会となります。



夏休みキャンプー工作



夏休みキャンプーすいか割り

○科学で遊ぼう

鷹番小学校の学校行事の振替休日に「科学で遊ぼう」の行事を行っています。今まで、ロッテ工場、全日空羽田整備工場、朝日新聞社等に行きました。



科学で遊ぼう——全日空羽田整備工場で

○ドッジボール大会

碑文谷地区の11の小学校参加によるドッジボール大会です。3月8日に行われた今年の大会は、15年ぶりの優勝で、関係者一同大喜びでした。

その他、「書初め」「火まつり」「盆踊り」「住区まつり」、また目黒区子ども会連合会主催の「歩こう会」等に参加し、子どもたちの笑顔のために、青少年の健全育成に取り組んでいます。

(部会長 上田実)

書初め



高く舞い上がると習字が上手になり勉強もできるという言い伝えから、火まつりで燃やしました。

生活環境福祉部会

生活に根付いたテーマで



H24.10 「住区まつり」に毎年出品しています

部会の名に添った活動を、と恒例の花道教室や、古布、古傘布の利用でひな人形、小袋、ペットボトル入れ等々を作成し、住区まつりに出展してまいりました。

また、スマイルプラザの施設見学をはじめ、清掃、防災、防犯関係の研修にも出かけました。

福祉関係としては、健康講座、介護講座で、地域のお医者様や包括支援センターにお世話になり、とても熱の入った講義をしてもらい、少しでも将来の安心にお役立てできたのでは、と思います。

ときには、料理教室に出かけ、舌鼓を打って楽しんできたり、正月の火まつり大会では、甘酒づくりに参加し、和気あいあいとおしゃべりしながら楽しんでいきます。

今年は、造幣局への見学を予定しています。

今後、皆様が「何か取り入れて」とのご要望がありましたなら、今後の発展のために、ぜひご一報下さいませ。ただ、予算の都合がありまして、人数の制限もさ

せていただいております。

地味にコツコツやっている部会ではありますが、みなさまの支えとご協力のもと、微力ながら頑張ります。

(部会長 高林すみ子)



H24.3 「今日からできる認知症予防」



H25.5 「震災と警防を考え、身を守りましょう」
——防災センターと警視庁を見学



H22.6 藤田医師による
「人体は宇宙、免疫とはなに？」

スポーツ部会

一緒に運動しましょう

スポーツ部会では、地域の子どもたちから、高齢者の大人まで、それぞれ各自の体力に合わせて、無理のない楽しい運動をしています。

1. 月例会

毎月1回(第3日曜日) 午後1時～4時

鷹番小学校校庭 : グラウンドゴルフ、
軽い体操 ラジオ体操等

体育館 : バトミントン、ソフトバレーボ
ール他

雨天の場合 : 体育館でグラウンドゴ
ルフ、ソフトバレー他

2. 「スポーツフェスティバル」

12月第1日曜日

午前 : 体育館内で各種ゲーム、楽し
いダンス

午後 : グラウンドゴルフ大会

3. グラウンドゴルフ研修会(要会費)

箱根富士裾野(大野路)等のコースに行っ
て実力を試します。

4. 中央地区スポーツ大会

グラウンドゴルフ大会になってから、過去7
連勝の実績があります。鷹番住区のチーム
ワークは、「ナンバー1」です。



スポーツフェスティバルで楽しいダンス

誰でも参加でき、無理なく、各自の体力に合わせて出来る楽しいスポーツ部会の行事です。

ご自分の健康維持のために、ご近所の方、お友達をお誘い合わせの上、まずは一度、遊びに来てください。

(部会員 高橋寛子)



中央地区スポーツ大会で7連勝



第1回富士裾野で、すがすがしい空気を
すってみんな元気をもらいます



仙石原高原のコースもまた趣があ
って思い出に残りました。

防犯部会

安心・安全なまちづくりを

私たち防犯部会は、13名で構成されております。
その内訳は、男性7名、女性6名です。

私たちの住む町が安心、安全であるように日々活動を行っております。

活動としては、以下の通りです。

○毎月1回、及び歳末には、学芸大学駅周辺で、安心して暮らせるあたたかい街を目指し、防犯パトロールを行っております。

○住区住民会議が主催しております火まつり、盆踊り大会、住区まつり等会場周辺の交通整理、会場周辺のパトロールを行っております。

○地域住民の方々の防犯意識の向上をめざして、警視庁碑文谷警察署の協力を得て、講演会等を行っておりますので、皆様方のご参加をお願い致します。



毎月1回防犯部会を開催



防犯部会ののち、鷹番駅周辺地域の安全パトロール



警視庁碑文谷警察署の協力を得て、「防犯の集い」を開催しています

その他として、防犯施設の見学会等を適宜行っております。

以上、防犯部の活動の一端をご説明いたしました
が、ぜひ、皆様方のご参加をお願い致します。

(部会長 小山惣市)

防災部会

防災意識の向上をめざして

近年、大規模な地震が頻発し、ここ東京においても近い将来、直下型地震が起きたときには甚大な被害を被ることが危惧されています。

こうした災害に対し、適切に対処できるよう、実践的な知識や技術を身につけておくことが大切になってきています。

みなさまのお役に立てるよう、以下の活動をしています。

○緊急時に役立つように、救命技能・AEDの取扱い等をまなぶ「救命技能講習会」を開催しています。

この講習を所定の時間受けると、消防庁公認の「普通救命技能認定書」が授与されます。鷹番住区内に在住、在勤の方には費用の一部を補助しています。

○地域住民の方々に呼び掛けて、「救命・救護」の勉強会を行い、AEDの取り扱いや、心肺蘇生法の指導を実施しております。

○火まつりでは 消火器の扱い方指導、消火隊の放水演習等の防災演習を行っています。



火まつりでの消火器取扱い指導



救命技能講習会



鷹番小学校での総合防災訓練

○鷹番小学校で、学校、消防署、消防団と連携し、避難、誘導、初期消火、救出救護、炊出し訓練、そして各消火隊の放水訓練などを行う総合防災訓練を行っています。

こうした行事を通じて、自らの防災意識を高め、家庭や地域における防災行動力の向上を図っていきます。そのためにも、各町会・自治会の震災対策部会とともに連携し、勉強していきます。

あなたとあなたの大切なご家族を守るため、ぜひこうした行事にご参加ください。

(部会長 徳升武良)

施設管理運営部会

信頼される住区センターに

鷹番住区住民会議は、目黒区の指定管理者として、鷹番住区センターの管理・運営を行い、具体的には主に施設管理運営部会が担っています。

中央地区サービス事務所、いこいの家職員、清掃担当者、そして住区センター従事者(運営員、管理員 11 人)が一緒になって、設備・施設を良好に維持し、会議室を気持ちよくご利用いただけるよう努めています。そのために、日常的に設備・施設の点検を行い、施設での事故等の未然防止を目指して以下のことを実施しています。

①防火訓練、②AED講習会、③施設・設備を適切に把握し、お客さまに提供するための研修、④年末の大掃除等。

お客さま対応は、休館日(月曜日)以外は、朝8時30分から夜10時まで行っています。「施設予約システム」による会議室の貸出、金銭の授受、車椅子の貸出等を行っています。

これらを円滑に行うため、定期的に施設管理運営部会を開催するとともに、従事者も含めたミーティングを開催しています。

「キレイだね」「気持ちよく利用させてもらったよ」というお客さまの声に励まされ、部会員と従事者が一体となって、日々の業務に取り組んでいます。

(部会長 高林宏)



笑顔でお客様をお迎えします



避難誘導訓練、第一報は 119 番



お客さまを安全な場所に誘導します



年末は会議室の大掃除をします

広報部会

地域に役立つ情報提供を

鷹番住区住民会議は、昭和60年4月13日、設立総会が開催され、『たかばん』(鷹番住区ニュース)は、それに先立つ昭和58年4月10日創刊されました。

以来、平成21年3月20日まで66号発行してきました。平成21年12月、ホームページ『たかばん』を立ち上げました。

住民会議各部会、町会・自治会のみなさんと連携を深めながら、地域のみなさんに役立つ情報を提供していきます。

みなさんからの情報提供や、広報部員への参加をお待ちしています。

(部会長 加藤勝年)

○ホームページ

<http://takaban-juku.net/>

○メールアドレス

info@takaban-juku.net

<h1>たかばん</h1>		平成16年6月15日 鷹番住区住民会議 広報部会編集発行
鷹番住区住民会議設立20周年記念号		
20周年を迎えて		交通部会、青少年部会、生活福祉環境部会、スポーツ部会、防犯部会、防災部会、施設管理運営部会、広報部会の八部会があり、それぞれ大勢の部員さんが活動しております。
鷹番住区住民会議 会長 神宮重夫		平成15年度の主な事業は、火まつり大会、鷹番住区まつりと運動会、自転車安全教室、歩こう会、野外活動キャンプ、華道教室、リサイクル講習会、グラウンドゴルフ大会、バドミントン・ソフトバレー・太極拳等の講習会、住区内防犯実態調査、防災訓練、応急救助訓練、住区センター施設の管理、住区ニュース発行などその活動は多岐にわたっております。また、住民会議が協力している大きな行事には、碑文谷公園桜フェスティバル、碑文谷公園盆踊り大会などもあります。
鷹番住区住民会議は昭和60年4月に結成以来、今年で20周年を迎えることになりました。これもひとえに目黒区をはじめ、地域住民の皆様のおかげで支え・ご協力のたまもの心から感謝申し上げます。		
この20年間、結成準備からつねに先頭にたれてご活躍なされました谷田様を始め、先輩諸氏のお骨折りは、言葉では言い尽くせないご苦労があったことと思われまます。		
平成8年に活動拠点としての住区センターが開設したのを機に、住民会議を中心とした住民の交流やコミュニティ活動の広がり、明るく住みよいまちづくりの基盤となってまいりました。		
住民会議の組織には、常任委員会を中心に		
総 会 報 告		
第20回鷹番住区住民会議定期総会が5月22日(土)午後6時より、目黒区総合庁舎1階レストランで開催されました。		(3) 平成15年度会計監査報告
神宮会長の挨拶で始まり、加藤隆康スポーツ部会会長を議長に選出し、議案の審議に入りました。議案は次のとおりです。		(4) 平成16年度活動計画案
(1) 平成15年度活動報告		(5) 平成16年度予算案
(2) 平成15年度決算報告		以上いずれも承認・可決されました。
		引き続き祝賀会を控えていたため、来賓をお招きしなかったものの、70余名の出席がありました。

H16.6.15 「たかばん」鷹番住区住民会議設立20周年記念号

鷹番住区住民会議の活動に支援・協力をいただいている関係諸機関・団体

目黒区／目黒区教育委員会／目黒区議会／目黒消防署／碑文谷警察署／中央町一丁目町会／鷹番一・二丁目町会／三谷北町会／碑文谷六丁目自治会／碑文谷町会／清水町会／鷹番小学校／目黒中央中学校／鷹番小学校PTA／目黒中央中学校PTA／目黒消防団第七分団／各町会消火隊／学芸大学商店連合会／鷹番老人いこいの家／鷹番東三宝会／鷹番西三宝会／鷹番学童保育クラブ／TAKABAN おやじの会／ヤングホークス／鷹の子サッカークラブ／鷹番剣道教室／鷹番 Jr.バレークラブ／鷹番 Jr.バドミントンクラブ／鷹番ミュージカルシアター／PTA 卓球サークル／バレークラブ GORILLA／碑文谷公園くらぶ／目黒区子ども会連合会 (順不同)

鷹番の四季

鷹番住区では、地域の特色を生かした、四季折々の催しを行っています。
詳細は、掲示板・回覧・ホームページでお知らせします。ぜひ、ご参加下さい。

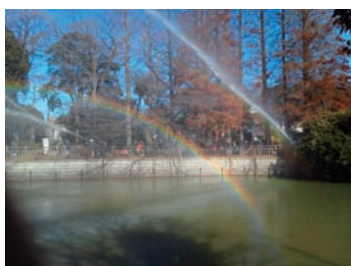
1月

火まつり

松がとれた後の伝統行事どんど焼き。真っ赤に燃える門松やお飾りには消火隊が待機しています。
子どもに人気のある、けん玉、缶ぽっくり、コマ回しなどの伝承あそびは、お父さん、出番ですよ！
雑炊や焼きいも、甘酒も振る舞われます。



どんど焼き



消火隊による放水



缶ぽっくり



焼きいも



雑炊

4月

桜フェスティバル

毎年桜時、「お花見と健康づくりと安心と」をテーマに碑文谷公園で模擬店・大道芸・和太鼓・バザー・参加型スポーツが行われます。
起震車や防災の体験などもあります。

主催は碑文谷公園くらぶですが、住民会議、学芸大学商店連合会を始め、地元の様々な団体の協力のもと開催されます。



碑文谷公園



バザー



模擬店



起震車



ちびっこ消防隊

恒例の盆踊りは碑文谷公園で、2日間にわたっておこなわれます。やぐらの上で踊るのは、講習会に参加した子どもたちと指導された先生方です。太鼓が鳴り響く園内には、地域のボランティア団体によるたくさんの模擬店が並び、大賑わい。踊りの輪も二重、三重に広がっていきます。

盆おどり

7月



鷹番住区まつりが2日間にわたっておこなわれます。1日目は住区センターで、作品展、囲碁・将棋、輪投げなどゲーム、お茶席。そして演芸発表会。2日目は作品展と、鷹番小学校での運動会。鷹番小学校管楽器クラブの演奏、苗木無料配布、模擬店もあります。

鷹番住区まつり

10月

鷹番住区センター会場



演芸会



作品展



お茶席



アートパルーン

鷹番小学校会場



準備体操



町会対抗リレー



パン食い競走



管楽器クラブの演奏



模擬店

鷹番住区住民会議設立 30 周年記念誌

はばたき

2014 (H26) .5.17

発行 鷹番住区住民会議

〒152-0004

目黒区鷹番 3-17-20

電話 3715-9231 FAX 3715-9248

E-mail info@takaban-juku.net

URL <http://takaban-juku.net>
